



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月12日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 8041 URL http://www.oug.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	146,564	△4.3	△899	—	△901	—	△968	—
24年3月期第2四半期	153,168	0.1	363	46.9	519	7.3	341	80.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,163百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 281百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△17.72	—
24年3月期第2四半期	6.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	75,104	14,347	19.1	262.56
24年3月期	70,340	15,840	22.5	289.79

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,346百万円 24年3月期 15,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	311,500	△2.9	400	△60.7	200	△84.6	50	△96.3	0.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	55,622,921株	24年3月期	55,622,921株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	982,693株	24年3月期	977,820株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	54,642,435株	24年3月期2Q	54,652,194株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に景気は緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務問題、海外経済の減速などの影響から輸出や生産は減少し、また、雇用・所得環境は一部に改善の動きがみられたものの依然厳しく、個人消費は総じて低迷するなど足踏み状態で推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、先行き不安などによる消費者心理の冷え込みや生活防衛意識から購買意欲は低迷し、低価格志向が浸透したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,465億64百万円（前年同期比95.7%）となりました。損益面では、売上総利益は98億円（前年同期比89.0%）となり、営業損失8億99百万円（前年同期は営業利益3億63百万円）、経常損失9億1百万円（前年同期は経常利益5億19百万円）、四半期純損失9億68百万円（前年同期は四半期純利益3億41百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は増加したものの販売単価の低下により売上高937億70百万円（前年同期比96.9%）、冷凍鮭鱈の市況下落などの影響による売上総利益率の低下及び貸倒引当金繰入額の増加によりセグメント損失4億29百万円（前年同期はセグメント利益3億34百万円）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、消費低迷、販売競争の激化などによる販売数量の減少、エビ商材等の販売価格低迷により売上高525億80百万円（前年同期比93.3%）、間接経費全般の節減に努めましたが売上高の減少によりセグメント損失3億43百万円（前年同期はセグメント損失1億28百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、全国的な養殖ブリの在池量増加に加え、競合する魚種（サーモン、カンパチなど）による市況の影響を受け、養殖ブリの販売数量の減少、販売単価の下落により売上高19億94百万円（前年同期比81.4%）、間接経費全般の節減などに努めましたが販売単価の下落を吸収できずセグメント損失2億9百万円（前年同期はセグメント利益93百万円）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、平成23年9月より生産を開始した定塩鮭冷凍製品の販売が寄与し、また、前期末にて連結子会社を1社増加したことにより売上高20億91百万円（前年同期比129.2%）となりましたが、米などの原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失90百万円（前年同期はセグメント損失1億32百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、通過物量の減少などにより売上高10億49百万円（前年同期比99.7%）、セグメント損失33百万円（前年同期はセグメント損失48百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高20億37百万円（前年同期比101.5%）、セグメント利益8百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて47億63百万円増加し、751億4百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加44億65百万円、受取手形及び売掛金の増加10億79百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて62億56百万円増加し607億56百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加22億10百万円、借入金の増加46億59百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて14億93百万円減少し143億47百万円（自己資本比率19.1%）となりました。主な要因は、四半期純損失の計上9億68百万円及び配当金の支払3億27百万円による利益剰余金の減少12億96百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億97百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて4億14百万円減少し、17億52百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは40億8百万円の支出（前年同期34億11百万円の支出）となりました。仕入債務の増加23億61百万円（前年同期25億35百万円の増加）がありましたが、たな卸資産の増加44億65百万円（前年同期45億73百万円の増加）及び売上債権の増加11億83百万円（前年同期20億83百万円の増加）が主な資金の減少要因となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3億85百万円の支出（前年同期2億40百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出3億55百万円（前年同期2億10百万円の支出）が主な資金の減少要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは39億79百万円の収入（前年同期30億75百万円の収入）となりました。配当金の支払3億27百万円（前年同期3億27百万円の支払）がありましたが、短期借入金及び長期借入金の借入れによる純収入46億59百万円（前年同期36億92百万円の純収入）が主な資金の増加要因となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,182	1,767
受取手形及び売掛金	29,055	30,135
商品及び製品	16,958	21,434
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	128	118
その他	1,326	1,440
貸倒引当金	△279	△391
流動資産合計	49,371	54,505
固定資産		
有形固定資産	12,112	12,014
無形固定資産	2,897	2,915
投資その他の資産		
投資有価証券	4,973	4,664
その他	2,831	2,916
貸倒引当金	△1,846	△1,912
投資その他の資産合計	5,958	5,668
固定資産合計	20,968	20,599
資産合計	70,340	75,104
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,152	22,362
短期借入金	15,795	20,720
1年内返済予定の長期借入金	1,291	1,242
未払法人税等	120	94
賞与引当金	705	717
その他	3,726	3,611
流動負債合計	41,791	48,748
固定負債		
長期借入金	6,768	6,552
退職給付引当金	2,450	2,464
役員退職慰労引当金	68	74
負ののれん	42	8
その他	3,377	2,907
固定負債合計	12,707	12,007
負債合計	54,499	60,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,153
利益剰余金	3,382	2,086
自己株式	△243	△244
株主資本合計	15,788	14,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	374	177
繰延ヘッジ損益	△3	1
土地再評価差額金	△324	△324
その他の包括利益累計額合計	46	△145
少数株主持分	5	1
純資産合計	15,840	14,347
負債純資産合計	70,340	75,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	153,168	146,564
売上原価	142,161	136,764
売上総利益	11,006	9,800
販売費及び一般管理費	10,642	10,700
営業利益又は営業損失(△)	363	△899
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	88	88
負ののれん償却額	182	33
その他	105	96
営業外収益合計	382	222
営業外費用		
支払利息	165	168
その他	61	54
営業外費用合計	227	223
経常利益又は経常損失(△)	519	△901
特別損失		
投資有価証券評価損	61	13
事務所移転費用	—	39
特別損失合計	61	52
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	457	△953
法人税、住民税及び事業税	53	66
法人税等調整額	61	△48
法人税等合計	115	17
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	342	△971
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	341	△968

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	342	△971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	△197
繰延ヘッジ損益	4	5
その他の包括利益合計	△60	△192
四半期包括利益	281	△1,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280	△1,160
少数株主に係る四半期包括利益	0	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	457	△953
減価償却費	463	426
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
負ののれん償却額	△182	△33
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	178
退職給付引当金の増減額(△は減少)	41	13
賞与引当金の増減額(△は減少)	69	12
受取利息及び受取配当金	△93	△91
支払利息	165	168
売上債権の増減額(△は増加)	△2,083	△1,183
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,573	△4,465
仕入債務の増減額(△は減少)	2,535	2,361
その他	209	△261
小計	△3,034	△3,827
利息及び配当金の受取額	93	91
利息の支払額	△154	△184
法人税等の支払額	△316	△87
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,411	△4,008
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△210	△355
投資有価証券の取得による支出	△14	△14
投資有価証券の売却による収入	1	—
短期貸付けによる支出	△65	—
短期貸付金の回収による収入	63	—
長期貸付けによる支出	△12	△3
長期貸付金の回収による収入	30	32
その他	△33	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△385
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,950	4,925
長期借入れによる収入	170	150
長期借入金の返済による支出	△427	△415
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△287	△350
配当金の支払額	△327	△327
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,075	3,979
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△576	△414
現金及び現金同等物の期首残高	2,314	2,167
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,738	1,752

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,789	55,099	1,475	740	560	151,665	1,502	153,168	—	153,168
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,991	1,227	973	878	491	6,563	505	7,069	△7,069	—
計	96,781	56,327	2,449	1,618	1,052	158,229	2,008	160,237	△7,069	153,168
セグメント利益 又は損失 (△)	334	△128	93	△132	△48	118	△6	112	251	363

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額251百万円には、セグメント間取引消去601百万円、のれんの償却額△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△341百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	90,955	51,477	1,276	794	554	145,058	1,506	146,564	—	146,564
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,815	1,103	717	1,297	495	6,427	531	6,959	△6,959	—
計	93,770	52,580	1,994	2,091	1,049	151,486	2,037	153,523	△6,959	146,564
セグメント利益 又は損失 (△)	△429	△343	△209	△90	△33	△1,106	8	△1,097	198	△899

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額198百万円には、セグメント間取引消去643百万円、のれんの償却額△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△437百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。